

農作物の生育概況等について

1 気象経過

10 月は、平年に比べて平均気温がかなり高く、降水量は平年並から少なく、日照時間は概ね平年並となった。初霜は前年より 22 日早く、平年より 14 日早い 10 月 21 日に観測した。

2 主な農作物の生育状況

(1) 水 稲

- ・ 農林水産省から10月11日に公表された水稻の作柄概況（9月25日現在）によると、予想収穫量は10a当たり583kg（全国第5位、前年589kg）と見込まれ、県全体の作況指数は97の「やや不良」となっている。地域別の作況指数は、村山地域101、最上地域94、置賜地域100、庄内地域94となっている。
- ・ 10 月 29 日に公表された品質検査結果（9 月 30 日現在）の一等米比率は、うるちの県平均で 95.0%（前年同期 54.7%）となっている。

(2) 大 豆

- ・ 10 月中旬から刈取りが始まっている。7 月以降の断続的な降雨等の影響で、収量は平年並から少ない見込み。

(3) 果 樹

- ・ 西洋なし「ラ・フランス」の収穫盛期は、前年より 6 日程度早い 10 月 7 日から 11 日頃となっている。予冷品は 10 月 21 日から販売されており、食味は良好である。
- ・ りんご「ふじ」は果実肥大が良好であり、収穫は前年並の 10 月末から始まり、11 月中旬頃には本格化する見込みである。
- ・ かき「平核無」の収穫は、前年並の 10 月 26 日頃から始まり、現在、収穫盛期となっている。

(4) 野 菜

- ・ トマトのハウス夏秋栽培は、収穫終盤となっている。
- ・ 露地ねぎは、腐敗症状の減少に伴い出荷量は回復傾向となっている。現在、収穫終盤となっており、品質は概ね良好である。

(5) 花 き

- ・ 鉢物・花壇苗では、シクラメン、パンジー、ビオラ、葉ぼたんが出荷されている。
- ・ 啓翁桜の収穫が 10 月下旬から始まっている。

3 当面の主な技術対策及び農作業安全対策

〈大 豆〉丁寧な選別・調製を徹底する。

〈果 樹〉西洋なし「ラ・フランス」の厳選出荷、りんご「ふじ」、かき「平核無」の適期内収穫と厳選出荷を徹底する。

〈野 菜〉施設果菜類の適切な温湿度管理、ねぎ等の露地野菜の適期収穫を徹底する。

〈花 き〉施設花きは、各品目の特性に応じた温度管理を徹底する。

〈農作業安全〉農作業事故防止のための基本的な対策を実施する。